

神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年6月29日 作成 神戸市感染症情報センター

報告定点数 48ヶ所

第25週 2016年 6月 20日 ～ 2016年 6月 26日

インフルエンザ

設置定点数 48ヶ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ																														

小児科 報告定点数 31ヶ所
設置定点数 31ヶ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症																								
咽頭結膜熱	1	2					1	4	1	9	1	1	4		1	1		1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	3	4		1		7	10	9	38				3	4	5	6	4	5	5	1	4		1
感染性胃腸炎	7	12	12	8	24	6	53	76	14	212	2	16	29	14	15	21	14	11	7	12	11	23	8	29
水痘	4		2				4	2	5	17		3	1		2	3	2	1		3	1	1		
手足口病	8				1		1	1	13	24	1		6	7	1	7		1				1		
伝染性紅斑	1				1	3		1	2	8		1	1		2		1		1	2				
突発性発疹	5				1	1	4		5	16		7	7	1	1									
百日咳																								
ヘルパンギーナ	8		6		6	5	16	26	1	68	1	8	19	13	12	8	5	2						
流行性耳下腺炎	3	1	3		12		7	9	7	42			1	2	1	6	14	5	3	4	2	2	1	1

今週、保育所からアタマジラミの集団発生の相談がありました。昨年神戸市では10名以上に感染拡大した相談が4件あり、集団発生に注意が必要です。アタマジラミは頭髮に住み、卵を産みつけ、吸血し、かゆみを与えます。頭髮同士の接触や寝具・帽子・タオルの共用などでうつります。保育園、幼稚園、小学校低学年で見つかることが多いです。アタマジラミの駆除の方法として毎日洗髪する、フェノトリン含有シャンプーを使用する（卵には効果ありません）目の細かいクシで髪をよくすく、枕カバー等は熱湯で処理し洗濯するなどがあります。卵は1週間で孵化するため継続した駆除が必要です。患者だけでなく家族、施設内での感染予防が必要です。

眼科 報告定点数 10ヶ所
設置定点数 10ヶ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎					1			2		3				1									1						1

（定点機関から報告されたその他の感染症情報）

東灘区○アデノウイルス感染症1例：年齢・性別不詳（6101）
東灘区○マイコプラズマ感染症2例：5～9歳女、10代男（6101）
東灘区○ヒトメタニューモウイルス感染症1例：0～4歳男（6101）
東灘区○カンピロバクター腸炎1例：5～9歳男（6102）
灘 区○マイコプラズマ感染症1例：10代男（6202）
北 区○病原性大腸菌感染症1例：0～4歳男（6505）
長田区○カンピロバクター腸炎1例：10代男（6602）
垂水区○病原性大腸菌感染症2例：年齢・性別不詳（6804）
垂水区○カンピロバクター腸炎2例：年齢・性別不詳（6804）
垂水区○帯状疱疹1例：20代（6804）
西 区○ロタウイルス感染症1例：年齢・性別不詳（6903）

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

神戸市 発生動向〔検索〕

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

（トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向）

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は6人（うち潜在性結核感染症2人）です。

【市内の感染症の状況】

ヘルパンギーナの患者数が急増しています。7月をピークとする流行が毎年生じる感染症で、乳幼児（4歳以下）に好発します。予防方法として、患者との濃厚接触を避けること、こまめな手洗い、おしめ等の洗濯物の日光消毒などがあげられます。

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年6月29日 作成

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 後天性免疫不全症候群)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2016年5月27日	2016年5月27日	2016年5月27日	A I D S	ELISA法 WesternBlot法 PCR法	意識障害 体重減少	同性間性的接触	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	不明	2016年6月3日	2016年6月8日	A群	分離・同定による 病原体の検出 (血液、膿)	ショック、腎不全、 軟部組織炎、 咽頭痛、倦怠感	不明	

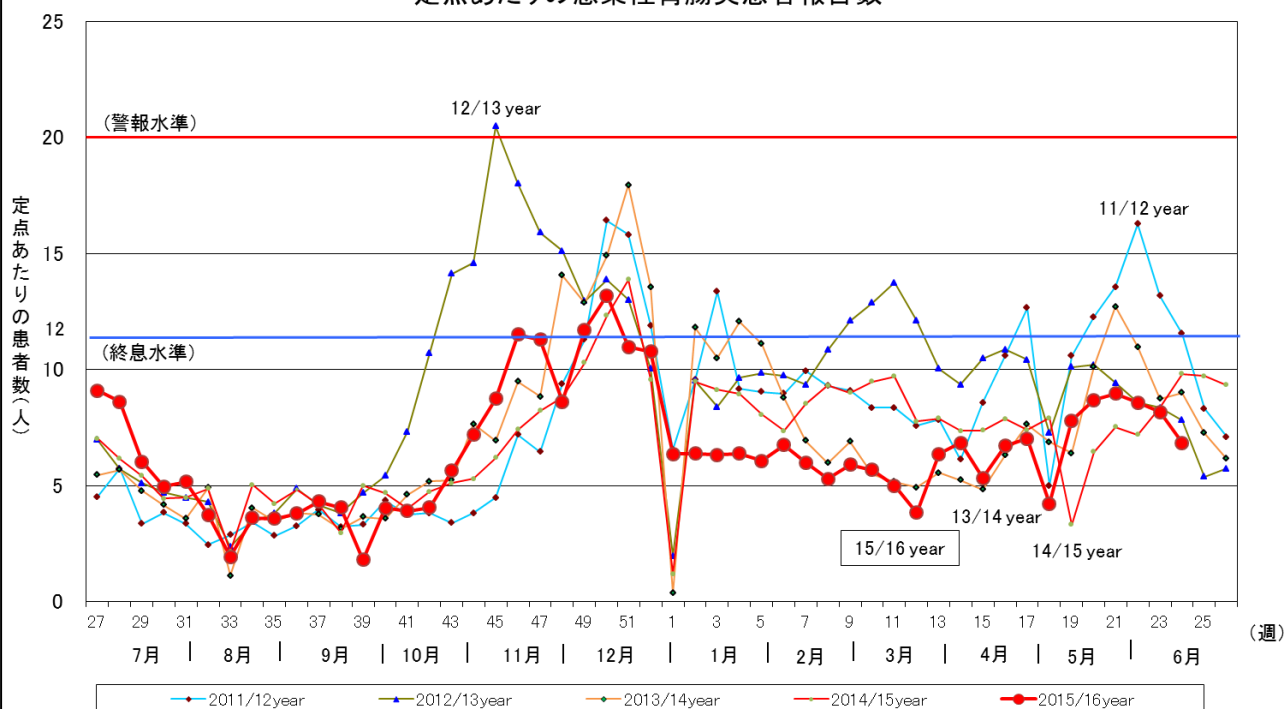
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2016年6月8日	2016年6月15日	2016年6月22日	早期顕症 梅毒Ⅰ期	RPRカードテスト TPHA法	初期硬結、硬性下疳 鼠径部リンパ節腫脹 (無痛性)	異性間性的接触	
女	10代	2016年5月25日	2016年6月21日	2016年6月21日	早期顕症 梅毒Ⅱ期	RPRカードテスト TPHA法	梅毒性バラ疹	異性間性的接触	
男	40代	2016年6月頃	2016年6月27日	2016年6月27日	早期顕症 梅毒Ⅱ期	RPRカードテスト TPHA法	梅毒性バラ疹	異性間性的接触	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
アデノウイルス2型	咽頭ぬぐい液	東灘	4歳10ヶ月女児(6/8採取、39.0℃、咽頭結膜熱)
A型インフルエンザウイルス (A/H3)	鼻腔ぬぐい液	中央	3歳4ヶ月女児(6/7採取、39℃、インフルエンザワクチン未接種)
コクサッキーウイルスB5型	直腸ぬぐい液	西	4歳2ヶ月女児(6/13採取、発熱あり、感染性胃腸炎)
	髄液・便・ 咽頭ぬぐい液	中央	2ヶ月男児(6/14、15採取、39℃、無菌性髄膜炎)
パレコウイルス3型	便	西	0ヶ月男児(6/17採取、38.8℃、無呼吸発作、血小板減少、DIC等)、下の事例と兄弟
	便	西	0ヶ月男児(6/17採取、39.1℃、無呼吸発作、血小板減少、DIC等)
ムンプスウイルス	唾液	須磨	2歳7ヶ月男児(6/20採取、40℃)
	唾液	東灘	6歳6ヶ月男児(6/21採取、発熱あり)

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



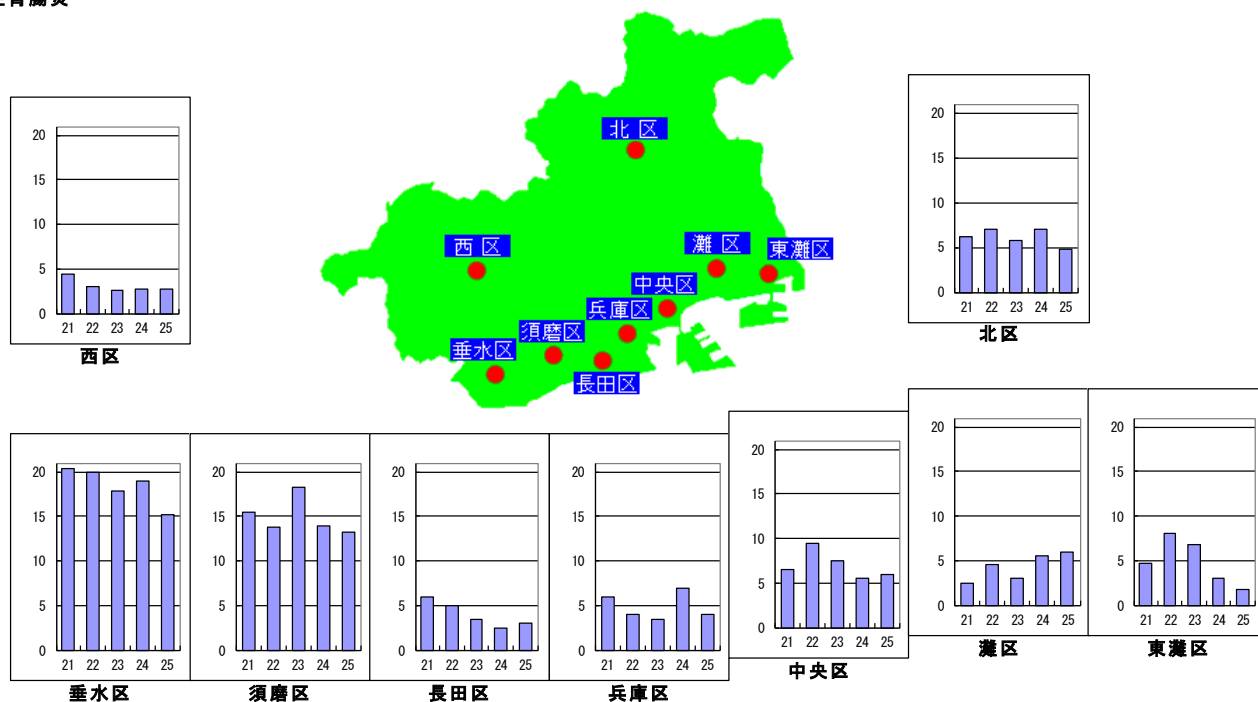
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 21 週 平成28年5月23日

～

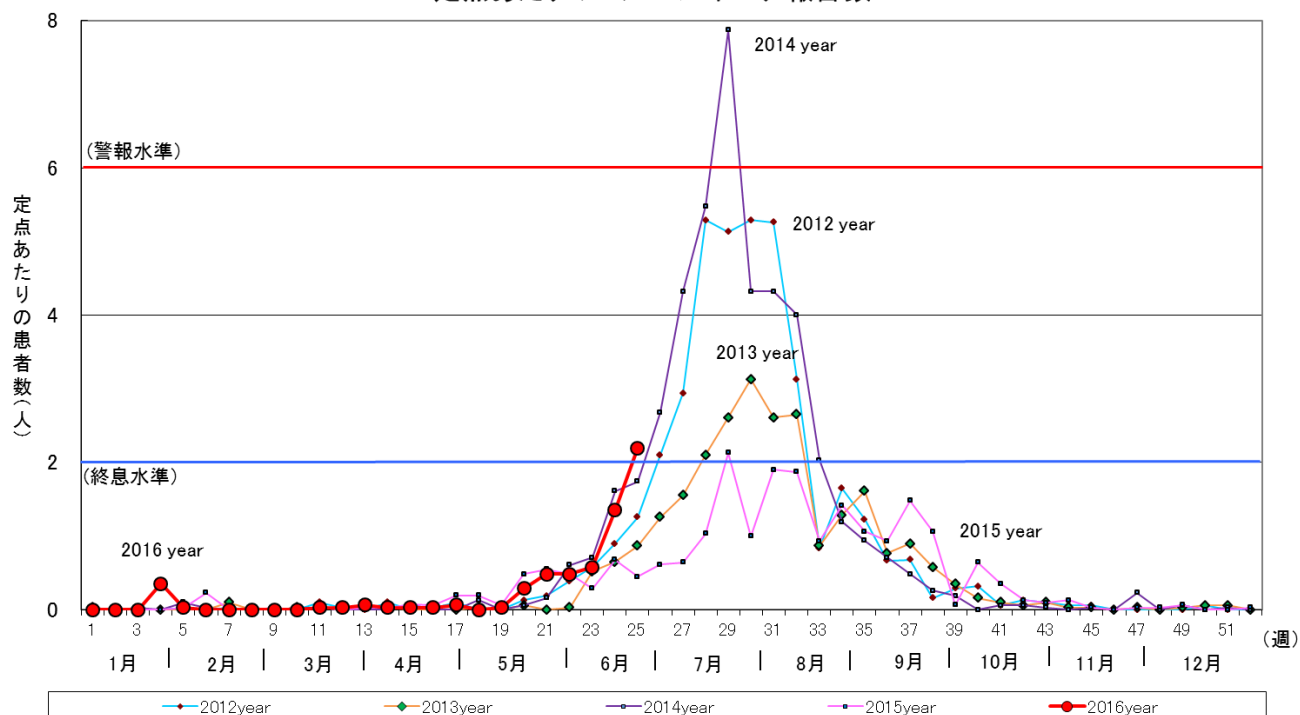
第 25 週 平成28年6月26日

感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりのヘルパンギーナ報告数



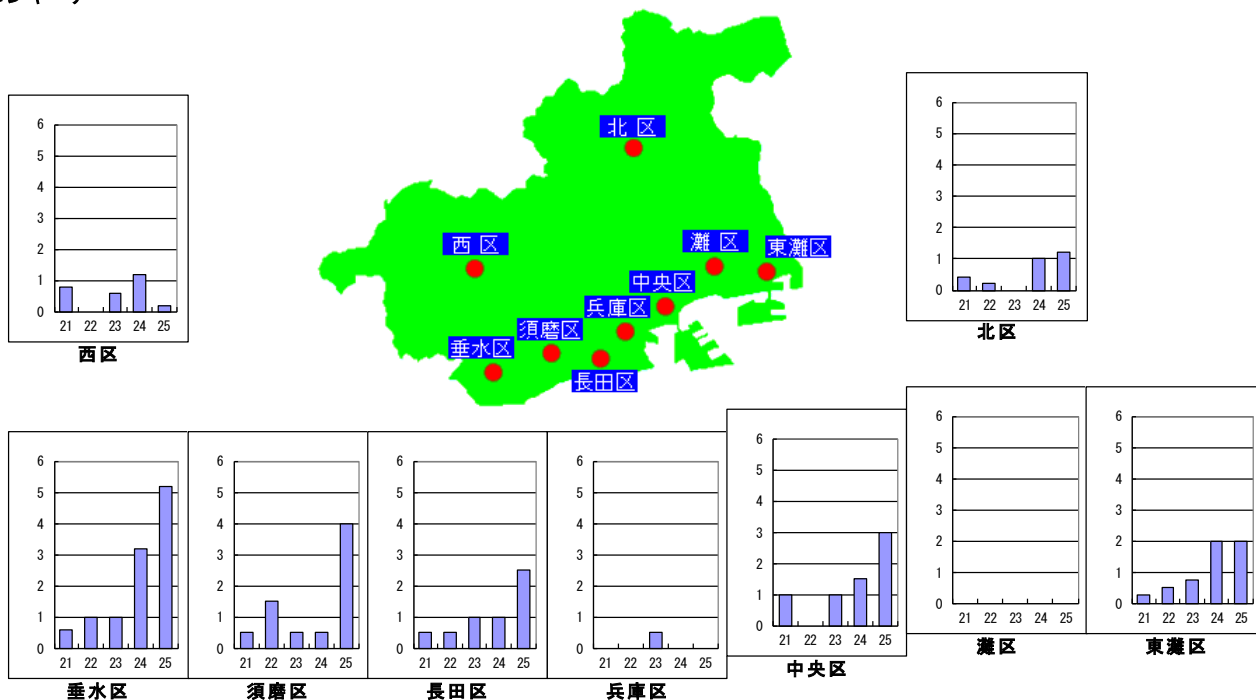
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 21 週 平成28年5月23日

～

第 25 週 平成28年6月26日

ヘルパンギーナ



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの患者数(人)

(注意報水準)

(終息水準)

2010 year

2016 year

2014 year

2015 year

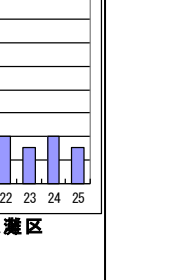
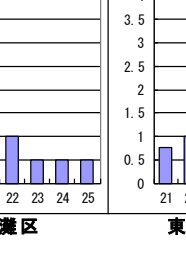
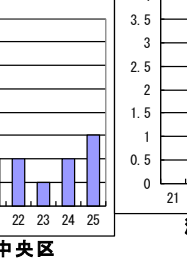
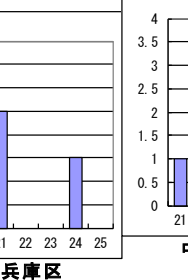
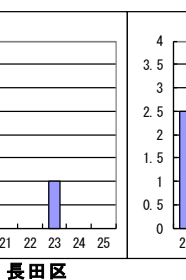
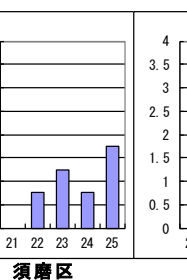
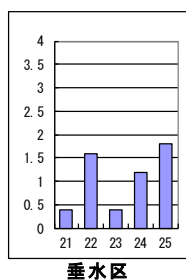
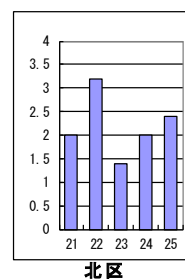
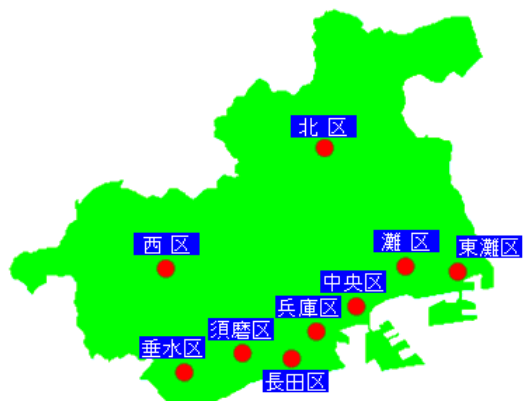
1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月

(週)

—○— 2010year —○— 2013year —○— 2014year —○— 2015year —●— 2016year

第 25 週 平成28年6月26日

Day	Number of Visitors
21	0.8
22	1.0
23	0.6
24	1.8
25	1.4



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。